

第1号議案 平成25年度事業報告について

1. 公益目的事業

(公1) 研究助成事業

[助成金]

< 学術研究 >

(継続研究) 7件 ・ 助成金額 10,890千円

1. 「多摩川流域における都市部から山間部へかけての生物間相互作用の変異と環境教材開発：植物－送粉者系をもちいて」
代表研究者 堂園 いくみ 東京学芸大学教育学部自然科学系広域自然科学講座環境科学分野 准教授
研究期間2012.4.1～14.3.31 本年度助成金2,000,000円
2. 「多摩川流域における放射性物質による河川水と土壌などの汚染状況調査と放射線・水環境を学ぶ市民教室の構築」
代表研究者 吉田 政高 NPO千葉健康ネットワーク 理事
研究期間2012.4.1～14.3.31 本年度助成金1,908,000円
3. 「多摩川流域の水生昆虫類の遺伝的構造」
代表研究者 倉西 良一 千葉県立中央博物館 主任上席研究員
研究期間2012.4.1～14.3.31 本年度助成金1,825,080円
4. 「多摩川上流域の山地斜面における深層崩壊に関する地形・地質学的研究」
代表研究者 苅谷 愛彦 専修大学文学部環境地理学研究室 准教授
研究期間2012.4.1～14.3.31 本年度助成金1,031,550円
5. 「首都圏の酸性雨の広域・長期観測データの解析に基づく多摩川流域への環境影響評価」
代表研究者 田中 茂 酸性雨問題研究会 代表世話人
(慶應義塾大学理工学部 教授)
研究期間2012.4.1～14.3.31 本年度助成金1,000,000円
6. 「森林の分断化に伴う生物種の絶滅リスク評価および優先保護区域の抽出：多摩丘陵における複数の種群・スケールの生物多様性を対象とした複合研究」
代表研究者 小池 伸介 東京農工大学大学院農学研究院森林生物保全学研究室 講師
研究期間2012.4.1～14.3.31 本年度助成金1,252,000円
7. 「多摩川生息魚類における漁病細菌の分布調査」
代表研究者 間野 伸宏 日本大学生物資源科学部 専任講師
研究期間2012.4.1～14.3.31 本年度助成金1,874,000円

(新 規 研 究) 4 件 ・ 助 成 金 額 6, 5 7 0 千 円

8. 「多摩川周辺の残る里山の植生の類型化に関する研究」
代表研究者 鈴木 貢次郎 東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授
研究期間 2013. 5. 1～15. 4. 30 本年度助成金 1, 0 0 0, 0 0 0 円
9. 「多摩川流域の都市における保全上重要な植物群落の評価」
代表研究者 吉川 正人 東京農工大学 大学院 農学府 助教
研究期間2013. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 1, 6 9 0, 0 0 0 円
- 1 0. 「多摩川水域における放射性同位体分布状況調査およびその地形との関連探究」
代表研究者 井上 浩義 慶應義塾大学 医学部 化学教室 教授
研究期間2013. 4. 1～15. 3. 31 本年度助成金 1, 9 8 0, 0 0 0 円
- 1 1. 「多孔性セラミックスと活性炭を用いた非電化フィルターによる多摩川河川水の減菌と飲料化の研究」
代表研究者 今田 千秋 東京海洋大学 大学院 教授
研究期間2013. 4. 1～15. 3. 31 本年度助成金 1, 9 0 0, 0 0 0 円

< 一 般 研 究 >

(継 続 研 究) 2 件 ・ 助 成 金 額 1 4 6 千 円

1. 「多摩川を溯った江戸・東京の民俗「地口行灯と祭り」」
代表研究者 岡崎 学 羽村郷土研究会
研究期間2012. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 6 7, 0 0 0 円
2. 「多摩川流域の里山にトウキョウサンショウウオの産卵地を復活させるための調査・研究」
代表研究者 飛弾 紀子 青梅カエル池プロジェクト
研究期間2012. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 7 8, 6 8 0 円

(新 規 研 究) 8 件 ・ 助 成 金 額 4, 4 9 3 千 円

3. 「多摩川における日本在来河原植物 5 種の分布調査」
代表研究者 柴田 隆行 多摩川の自然を守る会 代表
研究期間 2013. 3. 1～15. 3. 31 本年度助成金 6 8 7, 8 0 0 円
4. 「市民や子ども達による多摩川流域一斉水質調査についての新たな展開ー電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンの測定ー」
代表研究者 渡邊 勇 美しい多摩川フォーラム 環境清流部会長
研究期間 2013. 4. 1～15. 3. 31 本年度助成金 4 5 9, 7 0 0 円
5. 「高尾山におけるムササビの生態研究と普及啓発活動への利用」
代表研究者 井上 太志 自然観察活動チーム Wild Lives Watchers 代表
研究期間 2013. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 3 4 9, 0 6 0 円

6. 「武蔵野台地の風土や課題などを読み解くための散策コースづくりの調査・研究と、それにそった散策会（歴史散歩）の実施」
代表研究者 福田 恵一 小平市立小平第三中学校 社会科教論
研究期間 2013. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 174, 100円
7. 「多摩川流域におけるカメ相の変遷」
代表研究者 佐藤 方博 認定NPO法人 生態工房 事務局長
研究期間 2013. 4. 1～15. 2. 28 本年度助成金 654, 000円
8. 「多摩川流域（世田谷区玉川地域）における「食とアート」を通じた子どもの都市農業学習の支援活動」
代表研究者 田中 翔 早稲田大学 社会科学部 社会科学科 3年
研究期間 2013. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 860, 000円
9. 「多摩川及び福生地区の外来生物分布マップの作成」
代表研究者 島田 高廣 特定非営利活動法人自然環境アカデミー 代表理事
研究期間 2013. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 1, 000, 000円
10. 「多摩川・里川・秋川流域の低山丘陵地におけるニホンジカの分布拡大についての研究」
代表研究者 御手洗 望 青梅自然誌研究グループ
研究期間 2013. 4. 1～14. 3. 31 本年度助成金 308, 730円

以上21件の研究に総額22, 099千円を助成した。

選考結果と助成金決定額

(単位：千円)

区分(分類)	応募件数	採用件数	採用率(%)	助成金額
新規研究				
学術研究	15	4	27	6, 570
一般研究	27	8	30	4, 493
計	42	12	29	11, 063
継続研究				
学術研究	7	7	100	10, 890
一般研究	2	2	100	146
計	9	9	100	11, 036
合計	51	21	41	22, 099

[成 果]

本年度中に成果としてまとめられた研究（学術研究4件、一般研究5件）を国立国会図書館納本用を含め研究成果報告書として各3部印刷製本した。また、各研究成果全文を納めたCD-ROM（PDF形式）学術研究第42巻並びに一般研究第35巻を制作すると共に、当財団ホームページに要約を掲載し全文をダウンロード可能とした。なお、研究課題、研究概要については英文版を作成した。研究課題は下記の通りである。

<学術研究第42巻>

№. 303 「多摩川流域環境保全データベース検証用WebGIS構築に関する研究」
宮林 茂幸 多摩川源流研究所

№. 304 「病原性菌を含むスーパー多剤耐性菌の多摩川における存在調査」
浦野 直人 東京海洋大学海洋科学部海洋環境学科 教授

№. 305 「多摩川の水温変化の実態と形成要因に関する研究」
木内 豪 東京工業大学大学院総合理工学研究科 准教授

№. 306 「多摩川における絶滅危惧I類アサクサノリの生育特性、繁殖特性および保全対策」
畠田 智 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 准教授

<一般研究第35巻>

№. 205 「多摩川水系の小学校教師を対象とした多摩川環境学習の実態調査および問題解決に向けた学習支援とその教材開発」
竹本 久志 NPO多摩川塾 理事

№. 206 「玉川上水中流部におけるアライグマと中型哺乳類の生息状況」
片岡 友美 NPO生態工房 理事

№. 207 「多摩川流域における絶滅危惧種サシバの生態に関する調査研究」
山口 孝 多摩クマタカ生態調査チーム

№. 208 「第4回多摩川流域市民学会の開催」
長谷川 博之 昭島環境フォーラム

№. 209 「源流景観の探求と「多摩川源流景観シンポジウム」の開催」
木下 正之 小菅村源流景観計画策定委員会 委員長

(公2) 活動支援事業

1. LTER調査研究

財団自らが自主研究を遂行できる体制にないことと国際的なLTERのネットワークに日本が参加するきっかけづくりの必要性から、2004年10月に、東京農工大学(学長 小畑 秀文)と受託研究契約書を締結して、10年間をめぐりとしてスタートした、長期にわたる総合的な調査である。

同大学農学部が所有する多摩丘陵実習地(12.6ha、八王子市堀之内)は、多摩川流域の首都圏に残された貴重な森林域で、管理もよくされており、長期的なモニタリングを行うにはうってつけのサイトである。契約締結以降、順次、基礎的なワーキンググループの組織化、おおまかな方向策定、モニタリングのスケジュール化など、基本的な準備を終了し、第1期2005-2007年度実績では、物質循環系と森林生態系のモニタリング解析が同学のフィールドサイエンス誌の論文にまとめられた。また、日本のLTERである日本長期生態系研究ネットワークの準サイトとしての認証を受けた。

第2期2008-2010年度では、物質循環系のモニタリングを継続し定量的な評価をするとともに、森林生態系のモニタリングでは短期間に検出される変化に焦点を当てた解析をおこない、これらの成果をモデル化することを試みた。

第3期2011-2013年度では、多摩丘陵の画像のモニタリングシステムを推進し、物質循環系、森林生態系でのモニタリング結果との関係を解析し、画像から環境の状況を評価できる方法を検討した。調査は2013年度で終了し、今後はこれまでの成果を整理するとともに、全国的なモニタリングデータや画像データを考察して、全国規模の環境変化の予測方法を開発し、影響評価や影響の未然防止のための科学的な基礎資料をまとめる。

2. 第5回「とうきゅう環境財団社会貢献学術賞(50万円)」贈呈式を平成25年11月15日、セルリアンタワー東急ホテルにて開催

「とうきゅう環境財団社会貢献学術賞」は、財団が創立35周年を記念し、わが国の学術振興に資することを目的として設立した記念事業で、日本の環境分野において、学術的、社会的に特に顕著な業績(調査研究、科学技術の発展、行政施策、実践活動など)を挙げた研究者を表彰するものである。

第5回「社会貢献学術賞」は、日本環境会議からの推薦により、大阪市立大学名誉教授・滋賀大学元学長の宮本憲一氏が受賞した。同氏は1960年代初頭から公害・環境問題の調査研究に取り組み、環境保全型経済社会のための思想・理論・政策の分野でパイオニアとして活動を続けてきた。

■受賞者プロフィール■

宮本 憲一 (みやもと けんいち)

大阪市立大学名誉教授・滋賀大学元学長

<学歴・職歴等>

1953年3月名古屋大学経済学部卒業	1960年3月	金沢大学法文学部助教授
1953年4月金沢大学法文学部助手	1965年4月	大阪市立大学商学部助教授
1955年4月 金沢大学法文学部講師	1972年1月	経済学博士(京都大学)

1972年10月 大阪市立大学商学部教授
1993年3月 大阪市大定年退職
1993年4月 立命館大学産業社会学部教授
1994年4月 立命館大学政策科学部教授
2000年3月 立命館大学退職
2001年7月 滋賀大学長
2004年7月 滋賀大学長退職。立命館大学客員教授
2013年3月 立命館大学退職
現在 大阪市立大学名誉教授 滋賀大学名誉教授

<その他>

1997年7月 日本学術会議会員（第17期、第3部）
1967年4月 日本財政学会理事 後に常任理事を経て現在顧問
1992年4月 日本地方財政学会理事代表を経て翌年から2005年まで理事長
1986年4月 日本地方自治学会理事を経て1989年まで理事長、現在顧問
2004年4月 日本地域経済学会理事長、2007年より顧問
1998年4月 日本環境経済・政策学会理事、2005年まで

<受賞>

2005年10月 久保医療文化研究所より久保賞
2006年11月 京都新聞より文化学術大賞
2011年11月 Asia-Pacific Ngo's Environmental Conference より
Outstanding Contribution Award
2012年9月 環境経済・政策学会より特別賞

(公3) 啓発普及事業

1. 財団だより「多摩川」作成配布

平成25年 6月 138号
平成25年 9月 139号
平成25年12月 140号
平成26年 3月 141号

多摩川への関心を更に高め、新たな環境情報の提供を心掛けるなど、環境問題に関する啓発に努めるため、多摩川流域の団体などに配布し、またホームページ上にも掲載している。

2. 環境学習副読本普及促進

財団創立20周年を記念して平成6年度から発行を始めた環境学習副読本「多摩川ジュニア・ガイドー多摩川へいこうー」については、本年度も6,000部を印刷した。配布希望のあった小学校67校も含め、合計7,795部（配布累計278千部）を贈呈した。

3. 多摩川環境情報調査事業

本年度インターネットのアクセス件数は16,639件であった。公益財団法人になり今までの研究成果報告書515件が何時でも見られ、ダウンロードも出来る新インターネットホームページを平成23年4月よりスタートしている。

公益財団ホームページアドレス：<http://www.tokyuenv.or.jp/>

2. 会議・財政

(1) 理事会・評議員会

1. 第8回理事会

平成25年5月16日、東京急行電鉄(株)役員会議室において理事9名(14名中)監事1名が出席し開催した。

第1号議案 平成24年度事業報告について

馬淵常務理事から、同案について内容説明があった後、その内容について審議した結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第2号議案 平成24年度決算報告について

馬淵常務理事から、同案について内容説明があり、併せて岩田監事の監査報告の後、審議した結果、原案を承認することを出席理事全員一致で可決した。

第3号議案 選考委員の選任について

馬淵常務理事から、同案について内容説明があった後、その内容について審議した結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 第7回評議員会招集と議案について

馬淵常務理事から、同案について内容説明があった後、その内容について審議した結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

2. 第7回評議員会

平成25年5月31日、東京急行電鉄(株)役員会議室において評議員7名(12名中)、西本理事長、馬淵常務理事、監事1名が出席し開催した。

第1号議案 平成24年度事業報告について

馬淵常務理事から、同案について内容説明があった後、その内容について審議した結果、原案どおり出席評議員全員一致で可決した。

第2号議案 平成24年度決算報告について

馬淵常務理事から、同案について内容説明があり、併せて岩田監事の監査報告の後、審議した結果、原案を承認することを出席評議員全員一致で可決した。

第3号議案 評議員1名辞任につき1名選任について

馬淵常務理事から、同案について内容説明があった後、その内容について審議した結果、原案どおり出席評議員全員一致で可決した。

第4号議案 理事・監事の選任について

馬淵常務理事から、定款の規程により理事・監事全員本評議員会終結後任期満了により退任するので、その改選の必要がある旨の説明があった後、その内容について審議した結果、原案どおり出席評議員全員一致で可決した。

報告事項 選考委員の選任について

馬淵常務理事から、同案について内容の報告があった。

3. 第9回理事会

理事総数 14名

監事総数 1名

(理事会の決議の目的である事項)

(1) 西本定保を代表理事に選定し、理事長とする。

(2) 小野木喜博を業務執行理事に選定し、常務理事とする。

平成25年5月16日、理事西本定保が池島政広、小野木喜博以外の理事及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を発送し、また平成25年5月31日、池島政広、小野木喜博に上記内容の提案書を渡し、当該提案につき平成25年5月31日までに理事の全員から文書により同意する旨の意思表示を、また監事から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、定款第47条に基づき、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

4. 第10回理事会

理事総数 13名

監事総数 1名

(理事会の決議の目的である事項)

第1号議案 平成26年度事業計画について

第2号議案 平成26年度収支計画について

第3号議案 第8回評議員会議案について

平成26年3月1日、理事長 西本定保 が理事の全員及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発送し、当該提案につき平成26年3月13日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般法人法第96条（定款47条）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

5. 第8回評議員会

評議員総数 12名

(評議員会の決議の目的である事項)

第1号議案 平成26年度事業計画について

第2号議案 平成26年度収支計画について

平成26年3月13日、理事長 西本定保 が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発送し、当該提案につき平成26年3月20日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般法人法第194条（定款27条）に基づく評議員会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされた。

(2) 常任理事会（代表理事・業務執行理事の報告）

1. 第28回常任理事会
平成25年6月21日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。
第1号議案 平成25年5月分決算について
第2号議案 平成25年度研究助成金贈呈式について
2. 第29回常任理事会
平成25年7月18日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。
第1号議案 平成25年6月分決算について
3. 第30回常任理事会
平成25年9月19日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。
第1号議案 平成25年8月分決算について
第2号議案 平成26年度研究助成の公募について
4. 第31回常任理事会
平成25年10月25日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。
第1号議案 平成25年9月分決算について
5. 第32回常任理事会
平成25年11月27日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。
第1号議案 平成25年10月分決算について
6. 第33回常任理事会
平成25年12月18日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。
第1号議案 平成25年11月分決算について
第2号議案 平成25年年末、平成26年年始の予定について
7. 第34回常任理事会
平成26年1月22日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。
第1号議案 平成25年12月分決算について
第2号議案 平成26年度事業計画ならびに収支計画について

8. 第35回常任理事会

平成26年2月20日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。

第1号議案 平成26年1月分決算について

第2号議案 理事会・評議員会開催日について

第3号議案 第56回定時選考委員会開催について

9. 第36回常任理事会

平成26年3月26日、財団事務所において西本理事長・小野木常務理事が出席し開催した。

第1号議案 平成26年2月分決算について

(3) 選考委員会

1. 第5回とうきゅう環境財団社会貢献学術賞選考委員会

平成25年9月25日午後2時30分より、財団会議室において選考委員8名が出席し開催された。応募件数6件のうち下記1件が採択された。

宮本 憲一 大阪市立大学名誉教授・滋賀大学元学長

「環境保全型経済社会の思想・理論・政策に関するパイオニア的研究」

2. 第56回定時選考委員会

平成26年3月5日、財団会議室において選考委員9名が出席し開催された。

第1号議案 平成26年度調査・試験研究助成（学術研究）に関する新規研究課題の選考について、応募件数18件のうち下記6件が採択された。

第2014-02号 清水 長正 駒澤大学文学部地理学科 非常勤講師

「多摩川上流における風穴の現状およびその自然条件と温度観測」

研究期間 2014. 4. 1～2016. 3. 31

第2014-04号 倉本 宣 明治大学農学部 教授

「河川環境の特性を活かしたカワラノギクと礫河原生態系の再生手法の開発」

研究期間 2014. 4. 1～2016. 3. 31

第2014-08号 木庭 啓介 東京農工大学農学部環境資源科学科 准教授

「溶存N₂/Ar測定による多摩川における脱窒の推定」

研究期間 2014. 4. 1～2016. 3. 31

第2014-10号 松川 正樹 東京学芸大学環境科学分野 教授

「多摩川中流域に分布する上総層群の残された問題の解決、総括的研究と地質野外実習教材の改訂」

研究期間 2014. 4. 1～2016. 3. 31

第2014-13号 吉田 政高 NPO千葉健康づくり研究ネットワーク理事
「多摩川流域における放射性物質による影響の推移に係る調査研究と水環境・放射線を共に学ぶ教室の展開」
研究期間 2014. 4. 1～2016. 3. 31

第2014-16号 松田 和秀 東京農工大学農学部 准教授
「多摩川流域の森林丘陵地におけるPM2.5の沈着量の評価」
研究期間 2014. 4. 1～2016. 3. 31

第2号議案 平成26年度調査・試験研究助成（一般研究）に関する新規研究課題の選考について、応募件数9件のうち下記5件が採択された。

第2014-19号 野尻 明美 淡彩スケッチ画家
「淡彩スケッチで表現する多摩川流域の地質地形遺産の特徴とその発表方法」
研究期間 2014. 4. 1～2015. 3. 31

第2014-20号 平野 啓子 美しい多摩川フォーラム 副会長
「「多摩の物語」（民話・昔話）の掘り起し調査と”語り”の実演」
研究期間 2014. 4. 1～2016. 3. 31

第2014-23号 清宮 祥子 特定非営利活動法人R. I. L a 理事長
「多摩川中流域並びにその支流における生体と土壌に対する雨水の流入と放射能汚染の関係について」
研究期間 2014. 4. 1～2015. 3. 31

第2014-24号 重昆 達也 東京コウモリ研究会 代表
「多摩川流域（東京都域）におけるハープトラップを導入した森林性コウモリ類相の把握に関する調査研究と音声ライブラリー構築の試み」
研究期間 2014. 4. 1～2015. 3. 31

第2014-26号 五明 美智男 海辺つくり研究会 理事
「多摩川河口域における市民環境調査とその継続方策に関する研究」
研究期間 2014. 4. 1～2015. 3. 31

第3号議案 平成26年度調査・試験研究助成（学術研究）に関する継続希望研究課題の選考について、下記3件全てが採択された。

第2013-01号 鈴木 貢次郎 東京農業大学 地域環境科学部
造園科学科 教授
「多摩川周辺の残る里山の植生の類型化に関する研究」
研究期間 2013. 5. 1～2015. 4. 30

第2013-07号 井上 浩義 慶應義塾大学 医学部 化学教室 教授
「多摩川水域における放射性同位体分布状況調査およびその地形との関連探究」
研究期間 2013. 4. 1～2015. 3. 31

第2013-10号 今田 千秋 東京海洋大学 大学院 教授

「多孔性セラミックスと活性炭を用いた非電化フィルターによる多摩川河川水の減菌と飲料化の研究」

研究期間 2013. 4. 1～2015. 3. 31

第4号議案 平成26年度調査・試験研究助成（一般研究）に関する継続希望研究課題の選考について、下記3件全てが採択された。

第2013-16号 柴田 隆行 多摩川の自然を守る会 代表

「多摩川における日本在来河原植物5種の分布調査」

研究期間 2013. 3. 1～2015. 3. 31

第2013-18号 渡邊 勇 美しい多摩川フォーラム 環境清流部会長

「市民や子ども達による多摩川流域一斉水質調査についての新たな展開－電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンの測定－」

研究期間 2013. 4. 1～2015. 3. 31

第2013-36号 佐藤 方博 認定NPO法人 生態工房 事務局長

「多摩川流域におけるカメ相の変遷」

研究期間 2013. 4. 1～2015. 2. 28

第5号議案 2015年度 助成金最高限度額並びに助成金交付に関する価格及び単価表（案）について、原案通り承認された。

選考結果と助成金内定額

（単位：千円）

区分(分類)	応募件数	採用件数	採用率(%)	助成金額
新規研究				
学術研究	18	6	33	10,226
一般研究	9	5	56	4,454
計	27	11	41	14,680
継続研究				
学術研究	3	3	100	5,720
一般研究	3	3	100	1,165
計	6	6	100	6,885
合計	33	17	52	21,565

選考委員によるヒヤリング実施の研究者

研究者	分類	担当選考委員など	実施日
清水 長正（新規）	学術	新藤委員	4月16日
野尻 明美（新規）	一般	新藤委員	4月16日

(4) 財 政

1. 運用益収入

イ. 基本財産受取利息 (単位：円)

会 社 名	金 額	平成 25. 4. 1～26. 3. 31
東京急行電鉄社債	1,882,000	
東日本旅客鉄道社債	1,957,454	アンダーパー取得債権
大阪市債	1,125,000	25. 12. 25 満期
本州四国連絡橋公団債	1,384,843	25. 12. 20 満期
福岡北九州高速道路債	2,827,124	
超長期国債 (20年)	1,700,000	
中期国債 (5年)	60,000	
伊藤忠商事社債	909,098	オーバーパー取得債権
日本電気社債	621,920	オーバーパー取得債権
都市再生債権	91,833	
大阪府債	1,181,917	
ソフトバンク社債	△31,413	オーバーパー取得債権
合 計	13,709,776	

ロ. 特定資産受取利息 (単位：円)

会 社 名	金 額	平成 25. 4. 1～26. 3. 31
ソフトバンク社債	588,000	
合 計	588,000	

ハ. 受取利息 (単位：円)

会 社 名	金 額	平成 25. 4. 1～26. 3. 31
(株)三菱東京 UFJ 銀行渋谷支店	15,798	
合 計	15,798	

2. 寄付金収入 (単位：円)

運用財産受取寄付金			
	寄付会社名	受領額	入金年月日
1	東急カード(株)	37,000	平成25年4月30日
2	幅館 稔 様	5,000	平成25年9月24日
3	東京急行電鉄(株)	18,500,000	平成25年9月30日
4	東京急行電鉄(株)	26,500,000	平成26年3月25日
	合 計	45,042,000	
指定正味財産受取寄付金(研究助成金基金)			
	寄付会社名	受領額	入金年月日
1	東急テクノシステム(株)	15,000,000	平成26年3月17日

第2号議案 平成25年度決算報告について

1.貸借対照表				
平成26年3月31日現在				
公益財団法人とうきゅう環境財団				
(単位:円)				
科 目	当年度	前年度	増減	
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	31,756,591	36,872,495	△ 5,115,904	
未収利息	1,356,750	2,418,000	△ 1,061,250	
流動資産合計	33,113,341	39,290,495	△ 6,177,154	
2 固定資産				
(1) 基本財産				
普通預金	1,974,657	0	1,974,657	
投資有価証券	975,608,235	977,790,420	△ 2,182,185	
基本財産合計	977,582,892	977,790,420	△ 207,528	
(2) 特定資産				
普通預金	15,000,000	0	15,000,000	
投資有価証券	40,000,000	40,000,000	0	
特定資産合計	55,000,000	40,000,000	15,000,000	
(3) その他の固定資産				
工具器具備品	1,340,456	187,416	1,153,040	
電話加入権	0	74,984	△ 74,984	
敷金	1,726,590	0	1,726,590	
その他の固定資産合計	3,067,046	262,400	2,804,646	
固定資産合計	1,035,649,938	1,018,052,820	17,597,118	
資産合計	1,068,763,279	1,057,343,315	11,419,964	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	0	0	0	
流動負債合計	0	0	0	
2 固定負債				
役員退職慰労引当金	0	2,700,000	△ 2,700,000	
固定負債合計	0	2,700,000	△ 2,700,000	
負債合計	0	2,700,000	△ 2,700,000	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産	15,000,000	0	15,000,000	
(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)	0	(15,000,000)	
2 一般正味財産				
一般正味財産	1,053,763,279	1,054,643,315	△ 880,036	
(うち基本財産への充当額)	(977,582,892)	(977,790,420)	△ 207,528	
(うち特定資産への充当額)	(40,000,000)	(40,000,000)	0	
正味財産合計	1,068,763,279	1,054,643,315	14,119,964	
負債及び正味財産合計	1,068,763,279	1,057,343,315	11,419,964	

1-2. 貸借対照表内訳表

平成26年3月31日現在

公益財団法人とうきゅう環境財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	0	31,756,591	31,756,591
未収利息	1,356,750		1,356,750
流動資産合計	1,356,750	31,756,591	33,113,341
2 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	1,974,657	0	1,974,657
投資有価証券	975,608,235	0	975,608,235
基本財産合計	977,582,892	0	977,582,892
(2) 特定資産			
普通預金	15,000,000	0	15,000,000
投資有価証券	40,000,000	0	40,000,000
特定資産合計	55,000,000	0	55,000,000
(3) その他の固定資産			
工具器具備品	670,228	670,228	1,340,456
敷金	863,295	863,295	1,726,590
その他の固定資産合計	1,533,523	1,533,523	3,067,046
固定資産合計	1,034,116,415	1,533,523	1,035,649,938
資産合計	1,035,473,165	33,290,114	1,068,763,279
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	15,000,000	0	15,000,000
(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)	0	(15,000,000)
2 一般正味財産	1,020,473,165	33,290,114	1,053,763,279
(うち基本財産への充当額)	(977,582,892)	0	(977,582,892)
(うち特定資産への充当額)	(40,000,000)	0	(40,000,000)
正味財産合計	1,035,473,165	33,290,114	1,068,763,279
負債及び正味財産合計	1,035,473,165	33,290,114	1,068,763,279

2. 正味財産増減計算書			
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)			
公益財団法人とうきゅう環境財団			
(単位:円)			
科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(公1) 基本財産受取利息	13,709,776	14,566,928	△ 857,152
(公1) 特定資産受取利息	588,000	220,000	368,000
(公共・法人)受取寄付金	45,042,000	40,078,683	4,963,317
(公共・法人)雑収益	15,798	19,063	△ 3,265
経常収益計	59,355,574	54,884,674	4,470,900
(2) 経常費用			
事業費	41,758,649	45,826,866	△ 4,068,217
(公1) 研究助成事業支出	34,498,540	34,566,712	△ 68,172
助成金	22,099,700	22,393,950	△ 294,250
委員報酬	3,563,860	3,541,588	22,272
給料手当	7,333,418	6,606,541	726,877
助成金贈呈式	359,373	350,127	9,246
印刷・広告費	587,722	1,098,841	△ 511,119
その他経費	554,467	575,665	△ 21,198
(公2) 活動支援事業支出	3,485,961	3,540,857	△ 54,896
LTER調査研究費	800,000	800,000	0
社会貢献学術賞費	537,957	537,315	642
給料手当	736,863	676,744	60,119
学術賞贈呈式	596,652	575,920	20,732
印刷・広告費	108,478	355,891	△ 247,413
その他経費	706,011	594,987	111,024
(公3) 啓発普及事業支出	3,289,058	7,719,297	△ 4,430,239
財団だより編集費	379,382	612,410	△ 233,028
環境学習副読本普及促進費	851,550	1,890,766	△ 1,039,216
給料手当	695,241	1,475,346	△ 780,105
通信運搬費	682,114	1,533,304	△ 851,190
印刷・広告費	653,756	2,086,641	△ 1,432,885
その他経費	27,015	120,830	△ 93,815
修繕費	290,588	0	290,588
減価償却費	194,502	0	194,502
管理費	18,476,961	13,065,497	5,411,464
給料手当	10,970,166	10,219,146	751,020
役員退職慰労金	100,000	0	100,000
会議費	246,307	277,021	△ 30,714
旅費交通・通信費	319,557	335,016	△ 15,459
機器リース料	392,149	376,276	15,873
消耗品費	494,621	430,059	64,562
諸会費	193,300	212,300	△ 19,000
賃借料・共益費	4,521,777	0	4,521,777
諸謝金	694,054	442,350	251,704
その他経費	59,941	173,329	△ 113,388
修繕費	290,587	0	290,587
減価償却費	194,502	0	194,502
役員退職慰労金引当金繰入額	0	600,000	△ 600,000
経常費用計	60,235,610	58,892,363	1,343,247
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 880,036	△ 4,007,689	3,127,653
特定資産評価損益	0	△ 184,160	184,160
当期経常増減額	△ 880,036	△ 4,191,849	3,311,813
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 880,036	△ 4,191,849	3,311,813
一般正味財産期首残高	1,054,643,315	1,058,835,164	△ 4,191,849
一般正味財産期末残高	1,053,763,279	1,054,643,315	△ 880,036
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	(15,000,000)	0	(15,000,000)
当期指定正味財産増減額	15,000,000	0	15,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	15,000,000	0	15,000,000
III. 正味財産期末残高	1,068,763,279	1,054,643,315	14,119,964

2-2. 正味財産増減計算書内訳表
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

公益財団法人とうきゅう環境財団
(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合 計
	(公1) 研究助成事業	(公2) 活動支援事業	(公3) 啓発普及事業	共通	小 計		
I. 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
(公1) 基本財産受取利息	13,709,776				13,709,776		13,709,776
(公1) 特定資産受取利息	588,000				588,000		588,000
(公3) 受取補助金等	0				0		0
(公共・法人) 受取寄付金	0			27,170,285	27,170,285	17,871,715	45,042,000
(公共・法人) 雑収益	0				0	15,798	15,798
経常収益計	14,297,776	0	0	27,170,285	41,468,061	17,887,513	59,355,574
(2) 経常費用							
事業費	34,983,630	3,485,961	3,289,058	0	41,758,649	0	41,758,649
(公1) 研究助成事業支出	34,498,540	0	0	0	34,498,540	0	34,498,540
助成金	22,099,700				22,099,700		22,099,700
委員報酬	3,563,860				3,563,860		3,563,860
給料手当	7,333,418				7,333,418		7,333,418
助成金贈呈式	359,373				359,373		359,373
印刷・広告費	565,265				565,265		565,265
その他経費	576,924				576,924		576,924
(公2) 活動支援事業支出	0	3,485,961	0	0	3,485,961	0	3,485,961
LTER調査研究費		800,000			800,000		800,000
社会貢献学術賞費		537,957			537,957		537,957
給料手当		736,863			736,863		736,863
学術賞贈呈式		596,652			596,652		596,652
印刷・広告費		108,478			108,478		108,478
その他経費		706,011			706,011		706,011
(公3) 啓発普及事業支出	0	0	3,289,058	0	3,289,058	0	3,289,058
財団だより編集費			379,382		379,382		379,382
環境学習副読本普及促進費			851,550		851,550		851,550
給料手当			695,241		695,241		695,241
通信運搬費			682,114		682,114		682,114
印刷・広告費			653,756		653,756		653,756
その他経費			27,015		27,015		27,015
修繕費	290,588				290,588		290,588
減価償却費	194,502				194,502		194,502
管 理 費	0	0	0	0	0	18,476,961	18,476,961
給料手当					0	10,970,166	10,970,166
役員退職慰労金					0	100,000	100,000
会議費					0	246,307	246,307
旅費交通・通信費					0	319,557	319,557
機器リース料					0	392,149	392,149
消耗品費					0	494,621	494,621
諸会費					0	193,300	193,300
賃借料・共益費					0	4,521,777	4,521,777
諸謝金					0	694,054	694,054
その他経費					0	59,941	59,941
修繕費					0	290,587	290,587
減価償却費					0	194,502	194,502
役員退職慰労金引当金繰入額					0	0	0
経常費用計	34,983,630	3,485,961	3,289,058	0	41,758,649	18,476,961	60,235,610
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 20,685,854	△ 3,485,961	△ 3,289,058	27,170,285	△ 290,588	△ 589,448	△ 880,036
特定資産評価損益					0		0
当期経常増減額	△ 20,685,854	△ 3,485,961	△ 3,289,058	27,170,285	△ 290,588	△ 589,448	△ 880,036
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益					0		0
(2) 経常外費用					0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 2,103,403			1,679,270	△ 424,133	424,133	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,582,451	△ 3,485,961	△ 3,289,058	25,491,015	133,545	△ 1,013,581	△ 880,036
一般正味財産期首残高	977,576,633	△ 10,583,268	△ 17,523,053	70,869,308	1,020,339,620	34,303,695	1,054,643,315
一般正味財産期末残高	958,994,182	△ 14,069,229	△ 20,812,111	96,360,323	1,020,473,165	33,290,114	1,053,763,279
II. 指定正味財産増減の部							
受取寄付金	(15,000,000)	0	0	0	(15,000,000)	0	(15,000,000)
当期指定正味財産増減額	15,000,000	0	0	0	15,000,000	0	15,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	15,000,000	0	0	0	15,000,000	0	15,000,000
III. 正味財産期末残高	973,994,182	△ 14,069,229	△ 20,812,111	96,360,323	1,035,473,165	33,290,114	1,068,763,279

2-3. 正味財産増減計算書予算対比表

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

公益財団法人とうきゅう環境財団

(単位:円)

科 目	当年度	予算	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(公1) 基本財産受取利息	13,709,776	14,431,000	△ 721,224
(公1) 特定資産受取利息	588,000	280,000	308,000
(公共・法人) 受取寄付金	45,042,000	37,000,000	8,042,000
(公共・法人) 雑収益	15,798	7,000	8,798
経常収益計	59,355,574	51,718,000	7,637,574
(2) 経常費用			
事業費	41,758,649	40,103,000	1,655,649
(公1) 研究助成事業支出	34,498,540	34,097,000	401,540
助成金	22,099,700	22,000,000	99,700
委員報酬	3,563,860	3,533,000	30,860
給料手当	7,333,418	7,414,000	△ 80,582
助成金贈呈式	359,373	400,000	△ 40,627
印刷・広告費	587,722	350,000	237,722
その他経費	554,467	400,000	154,467
(公2) 活動支援事業支出	3,485,961	3,885,000	△ 399,039
LTER調査研究費	800,000	800,000	0
社会貢献学術賞費	537,957	600,000	△ 62,043
給料手当	736,863	845,000	△ 108,137
学術賞贈呈式	596,652	600,000	△ 3,348
印刷・広告費	108,478	360,000	△ 251,522
その他経費	706,011	680,000	26,011
(公3) 啓発普及事業支出	3,289,058	2,121,000	1,168,058
財団だより編集費	379,382	400,000	△ 20,618
環境学習副読本普及促進費	851,550	700,000	151,550
給料手当	695,241	461,000	234,241
通信運搬費	682,114	420,000	262,114
印刷・広告費	653,756	120,000	533,756
その他経費	27,015	20,000	7,015
修繕費	290,588	0	290,588
減価償却費	194,502	0	194,502
管理費	18,476,961	12,822,000	5,654,961
給料手当	10,970,166	10,050,000	920,166
役員退職慰労金	100,000	0	100,000
会議費	246,307	120,000	126,307
旅費交通・通信費	319,557	360,000	△ 40,443
機器リース料	392,149	360,000	32,149
消耗品費	494,621	480,000	14,621
諸会費	193,300	220,000	△ 26,700
賃借料・共益費	4,521,777	0	4,521,777
諸謝金	694,054	450,000	244,054
その他経費	59,941	182,000	△ 122,059
修繕費	290,587	0	290,587
減価償却費	194,502	0	194,502
役員退職慰労金引当金繰入額	0	600,000	△ 600,000
経常費用計	60,235,610	52,925,000	7,310,610
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 880,036	△ 1,207,000	326,964
特定資産評価損益	0	0	0
当期経常増減額	△ 880,036	△ 1,207,000	326,964
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 880,036	△ 1,207,000	326,964
一般正味財産期首残高	1,054,643,315	1,054,643,315	0
一般正味財産期末残高	1,053,763,279	1,053,436,315	326,964
II. 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	(15,000,000)	0	(15,000,000)
当期指定正味財産増減額	15,000,000	0	15,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	15,000,000	0	15,000,000
III. 正味財産期末残高	1,068,763,279	1,053,436,315	15,326,964

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法（定額法）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

役員退職慰労引当金は役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	1,974,657	0	1,974,657
投資有価証券	977,790,420	466,267,954	468,450,139	975,608,235
小計	977,790,420	468,242,611	468,450,139	977,582,892
特定資産				
普通預金	0	15,000,000	0	15,000,000
投資有価証券	40,000,000		0	40,000,000
小計	40,000,000	15,000,000	0	55,000,000
合計	1,017,790,420	483,242,611	468,450,139	1,032,582,892

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	1,974,657	(0)	(1,974,657)	(0)
投資有価証券	975,608,235	(0)	(977,608,235)	(0)
小計	977,582,892	(0)	(977,582,892)	(0)
特定資産				
普通預金	15,000,000	(15,000,000)		
投資有価証券	40,000,000	(0)	(40,000,000)	(0)
小計	55,000,000	(15,000,000)	(40,000,000)	(0)
合計	1,032,582,892	(15,000,000)	(1,017,582,892)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
工具器具備品	1,467,060	126,604	1,340,456
合 計	1,467,060	126,604	1,340,456

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価格	時 価	評価損益
第74回東京急行電鉄債	100,000,000	109,891,000	9,891,000
第24回東日本旅客鉄道債	97,896,632	108,855,000	10,958,368
第133回福岡北九州高速道路債	100,000,000	98,632,000	△1,368,000
第59回超長期国債(20年)	100,000,000	109,930,000	9,930,000
第94回中期国債(5年)	10,000,000	10,089,000	89,000
第67回伊藤忠商事社債	100,457,523	102,010,000	1,552,477
第42回日本電気社債	101,233,580	102,030,000	796,420
第89回都市再生債	100,000,000	98,670,000	△1,330,000
第381回大阪府公募公債	100,000,000	99,382,300	△617,700
第20回兵庫県公募公債	100,000,000	98,430,000	△1,570,000
第41回ソフトバンク社債	106,020,500	106,089,165	68,665
合 計	1,015,608,235	1,044,008,465	28,400,230

6. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
役員退職慰労引当金	2,700,000	0	2,700,000	0

馬淵常務理事・事務局長退任による減少

附属明細書

「基本財産及び特定資産の明細」及び「引当金の明細」については、財務諸表の注記に記載している。

3. 財 産 目 録

平成26年3月31日現在

公益財団法人とうきゅう環境財団

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
1. 流動資産			
現金	手元保管	運転資金として	39,772
預 金	普通預金 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	運転資金として	31,716,819
未収利息	東京急行電鉄社債など7銘柄分	公益目的保有財産の期中未収利息	1,356,750
流動資産合計			33,113,341
2. 固定資産			
(1)基本財産	預 金	普通預金 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	公益目的保有財産であり、運用益を(公1)研究助成事業の財源として使用している
	投資有価証券	第74回東京急行電鉄社債 1件 額面 100,000,000円	100,000,000
	" "	第24回東日本旅客鉄道社債 1件 額面 100,000,000円	97,896,632
	" "	第133回福岡北九州高速道路債 1件 額面 100,000,000円	100,000,000
	" "	第59回超長期国債(20年) 1件 額面 100,000,000円	100,000,000
	" "	第94回利付国債(5年) 1件 額面 10,000,000円	10,000,000
	" "	第67回伊藤忠商事社債 1件 額面 100,000,000円	100,457,523
	" "	第42回日本電気社債 1件 額面 100,000,000円	101,233,580
	" "	第89回都市再生債権 1件 額面 100,000,000円	100,000,000
	" "	第381回大阪府公募公債 1件 額面 100,000,000円	100,000,000
	" "	第20回兵庫県公募公債 1件 額面 100,000,000円	100,000,000
	" "	第41回ソフトバンク社債 1件 額面 65,000,000円	66,020,500
	投資有価証券合計		975,608,235
	基本財産合計		977,582,892
(2)特定資産	預 金	普通預金 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	公益目的保有財産であり、運用益を(公1)研究助成事業の財源として使用している
	投資有価証券	第41回ソフトバンク社債 1件 額面 40,000,000円	40,000,000
	特定資産合計		55,000,000
(3)その他の固定資産	工具器具備品 敷金	事務所内備品等 その他の固定資産合計	事務所内にて公益目的事業及び管理運営業務に使用している
			1,340,456
			1,726,590
			3,067,046
固定資産合計			1,035,649,938
資 産 合 計			1,068,763,279
正 味 財 産			1,068,763,279